

在宅ネブライザー療法の手引き



1. 吸入前の準備



薬液カップ

カップホルダー

霧化室

- ・ 本体に水道水をいれる。
- ・ 水道水は作用槽内の水位線まで入れて下さい。
- ・ 水道水は約200ml入ります。
- ・ 水道水は毎回新しいものを入れ替えて下さい。



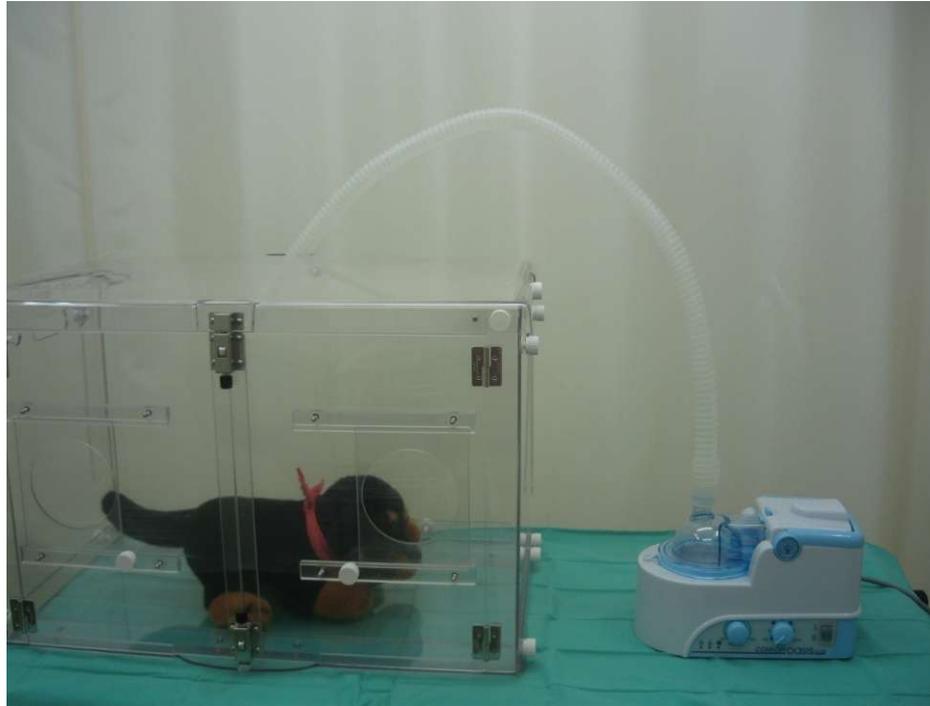
低量霧化キャップ

2.薬液を入れる



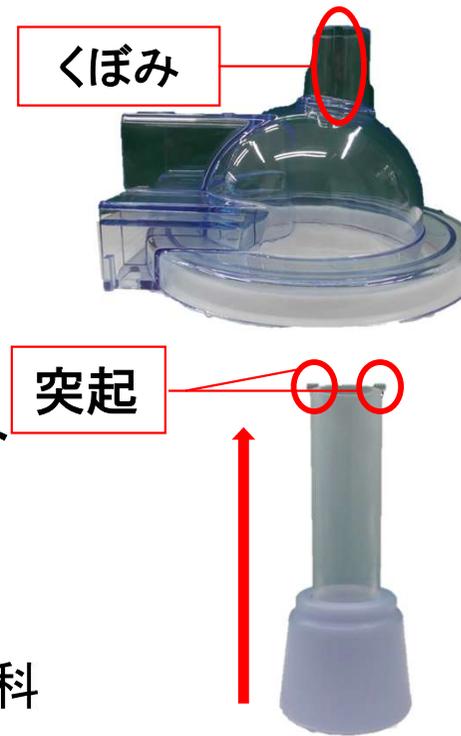
- カップホルダーと薬液カップを取り付け薬液カップに薬液を入れます。
- 生理食塩液5mlと各薬液剤

3.噴霧部を取り付ける



- 霧化室を取り付け耐熱送気ホースを接続します。

※貸出し用のホースは左の写真のホースよりも短いです



霧化室のくぼみに霧化キャップの突起部分を合わせて下から上に向かって取り付ける。90度回してロック

※ネブライザーをキャリーケース等で行う場合は温度調節が出来ない為、保冷剤やペットボトルを凍らせたもの等の中に入れて暑くならないように工夫をお願い致します。

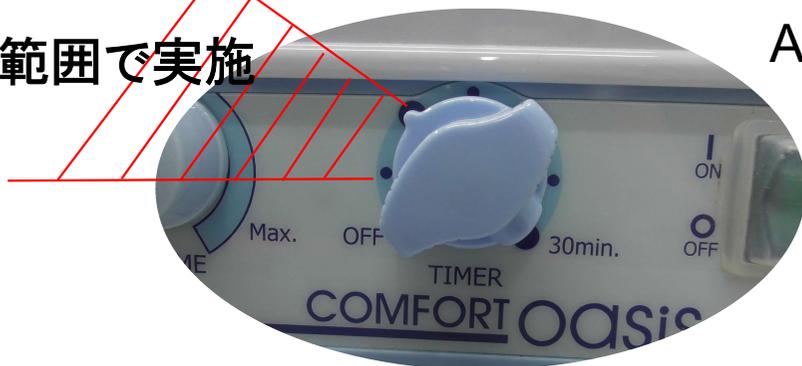
4.吸入開始



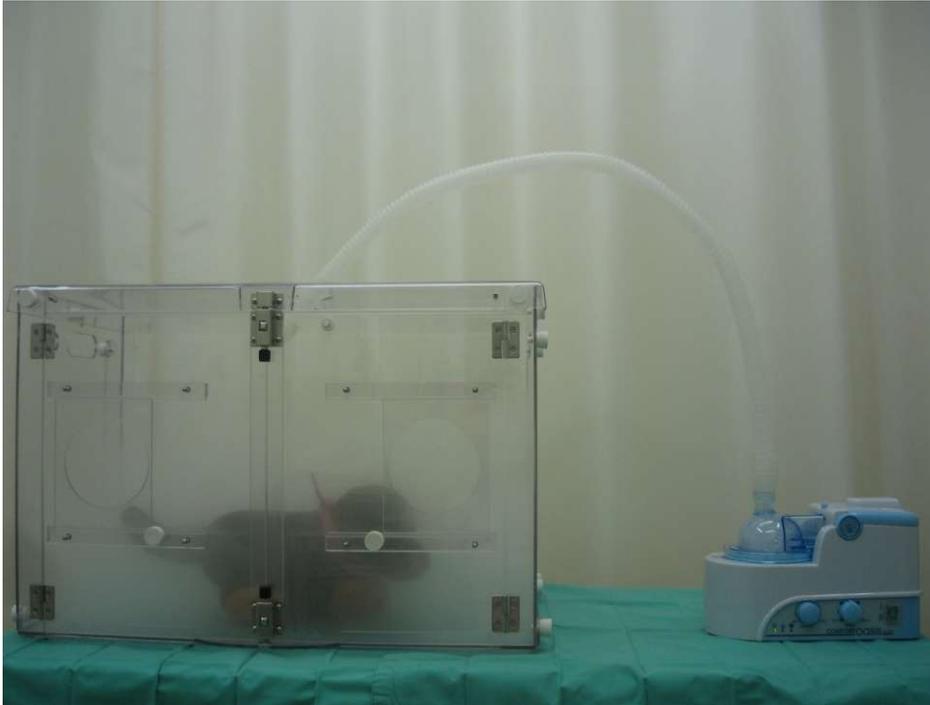
- 電源コードを接続して電源プラグをコンセントへ差し込みます。
- タイマーのつまみ(A)を回して吸入時間を設定します。(約10分未満)
- 霧化量の調節つまみ(B)※半分以下
- 電源スイッチをONにし噴霧を開始します。

注) 直接噴霧する場合は霧化量を調節して下さい。

この範囲で実施



5.吸入中の様子



- ホースが折れ曲がらないように注意します。
- 必ず空気孔を数箇所作って下さい。

注1)ホースが折れ曲がると薬液がたまり霧化量が低下することがあります。

注2) **密閉厳禁**※

※密閉状態で行うと空気環境が悪くなり、逆に状態が悪化する場合がございます。常にネブライザー室内は換気できるようにし内部は十分に透ける程度に留めてください。内部がよく見えないほど濃いと、肺に水が溜まる可能性があります。ご愛犬またはご愛猫が吸う分以外のけむりはケースの外に漏れる状態で問題ございません。けむりの量が多い場合は霧化量を少し弱く調整してみてください。

お手入れ1



- 本体のスイッチをOFFにし電源コードを抜いて下さい。
- 耐熱送気ホース、霧化室、薬液カップ、カップホルダーは毎回使用後に水洗いします。

注) 薬液が付着したまま放置すると雑菌が繁殖してしまいますので注意して下さい。

お手入れ2



- 水道水を捨てます。

お手入れ3



- 作用槽内に残った水分はキッチンペーパー等で拭き取ります。

注) 振動子(銀の部分)を損傷させないように注意して拭き取って下さい。

お手入れ4



- 各部品は別々に衛生的な所で自然乾燥させる。

注)各部品は定期的に洗浄、消毒を行って下さい。取扱説明書13から18ページを参照して下さい。(機械を購入した場合に付属の取扱説明書に記載)